

# 富士宮西ロータリークラブ 会報



Rotary



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

国際ロータリークラブ第2620地区 2021～2022年度 RI会長 シェカール・メータ  
会長 今村 一徳 幹事 矢部 英樹



例会場より

例会場 ゲストハウス フォレストヒルズ 例会日 毎週金曜日 月の最終週 夜間  
事務所 〒418-0034 静岡県富士宮市黒田 205-1 ゲストハウス フォレストヒルズ内  
TEL 0544-22-8899 FAX 0544-22-7666 Mail fujinomiyawestrotary@mountain.ocn.ne.jp

## NO. 2 通算 1454 号 2021. 7. 9 (金)

### 本日の予定

クラブ協議会/5 統括委員長今期の各委員会方針

### ゲストビジターの紹介

副会長 矢部 英樹 君  
なし

### 会長挨拶

会長 今村 一徳 君



先週の例会日より大雨が続き、熱海では大変な災害が起きてしまいました。富士宮にも3日(土)に一部地域にレベル4の避難指示が出ました。今回、改めて避難指示の内容を調べてみました。2019年に導入された「大雨警戒レベル」多くの防災情報をわ

かりやすく整理し、避難に結びつける目的でしたが、必ずしも的確な避難に結びつけていない課題もあり、5月20日から情報が変更されました。今回の変更点と避難のポイントについて大事なことは、「レベル5を待たずにレベル4までに避難を終えること」ですと記載されていました。では避難レベルとは

レベル1 (最新情報に注意)

気象庁は「早期注意情報」という情報をホームページで発表し、数日先までに気象情報が出る可能性について示した情報です。レベル1の段階ではこうした情報をチェックするなど大雨に関する最新の情報に注意してくださいとの内容です。

レベル2 (避難方法など確認)

気象庁からは「大雨・洪水注意報」が発表されるような段

階です。実際に避難することになった場合に、どう行動すればいいのか改めて確認してください。自分が住んでいる場所で起きやすい災害の種類をハザードマップで調べたり、避難場所や避難の経路を確かめたりすることが重要です。

レベル3 (高齢者など避難)

自治体が「高齢者等避難」の情報をだします。これまでは「避難準備の情報(避難準備・高齢者等避難開始)」でしたが情報の対象をより明確にするため、名称が「高齢者等避難」に変わりました。大雨・洪水警戒や川の氾濫警戒情報が発表されるような状況です。高齢者や体の不自由な人などは避難を始めてください。このほかの人も避難場所の確認や持ち出すものの準備を進め、危険を感じたら自主的な避難を始めてください。

レベル4 (危険な場所から全員避難)

自治体が「避難指示」を発表します。これまでは同じレベル4に「避難勧告」と「避難指示」がありましたが、「避難指示」に一本化されました。大雨によって土砂災害の危険性がさらに高まり、「土砂災害警戒警戒」がだされたり川の水位が上昇して「氾濫危険情報」が発表されたりするような状況です。高齢者などに限らず、危険な場所にいる人は全員避難する段階です。避難場所に限らず、自宅近くの頑丈な建物などでも安全を確保できる場合があります。あらかじめハザードマップなどを確認してください。

レベル5 (命を守って!)

自治体から「緊急安全確保」が発表されます。すでに災害が発生、または発生している可能性が極めて高い状態です。川が氾濫して「氾濫発生情報」が出されたり、気象庁から

【会報委員会】 委員長：伊原謙治 委員：仲亀秀樹 片岡博昌 石田道彦 近藤憲司 斉藤邦男

「大雨特別警報」が発表されたりします。避難場所への移動は手遅れになっているおそれがあります。周囲の状況を確認し、避難場所までの移動が危険な場合には近くの頑丈な建物に移動するほか、外に出るのがすでに危険な場合は、建物の2階以上や崖の反対側など、少しでも安全な場所で、命が助かるような行動を取ってください。

避難のポイントは、避難はレベル4まで！レベル5をまたないでください。

注意が必要なのは、「緊急安全確保」は発表されませんが、この段階では安全が確保できないおそれがあります。あくまで避難し遅れた人に「次善の行動」を求める呼びかけだと考えてください。「まだレベル5あるから大丈夫」と思わず、身の危険が迫る前にレベル4の段階、つまり避難指示が出たら避難してください。避難場所への移動が困難な時は、猛烈な雨が数時間降った時などには一気に状況が悪化して、高齢者等避難の情報や避難指示が間に合わないこともあります。すでに周囲で浸水が始まるなど。遠くの避難場所に逃げるとかえって危険な場合には、近くの安全な場所や建物に逃げることも選択肢の一つです。すでに外に出るのが危険な場合には、少しでも命が助かる可能性が高い行動として、建物の2階以上や崖の反対側に移動する方法もあります。山あいの中小河川が氾濫した場合には、川からの距離やわずかな標高の差で被害の程度に大きな差が出ることもあります。また川に近い場所や、浸水が深くなるおそれのある地域のうち、住宅が倒壊したり流されたりする危険性がある場所は国などが「家屋倒壊等氾濫想定区域」に指定します。この区域では、2階にいたとしても助からないことがあります。少しでも安全な場所を探してください。

命を守るのは自分“避難スイッチ”を作って、防災機関や治体などさまざまな情報を発表します。しかし、脅威が間近に迫っているときに行政が一人ひとりを助けに行くことはできません。私たちも情報を受けるだけでなく、情報を行動につなげられるようどこに、どのタイミングで逃げるのか、「避難スイッチ」をあらかじめ考えておくことが重要です。ふだんから住んでいる地域の災害リスクに関心を持ち、災害のおそれがある場合には早め早めに避難の行動を起こしてください。

と、記載がありました。以前、消防職員が何かの災害時、「まずは避難、命の確保」と言われました。荷物をまとめていたり、忘れ物を取りに戻ったりで、命を落とす確率はとても高いと言われました。近年過去に経験のない災害が多く見受けられます、皆様もまずは避難、命の確保をしてください

**幹事報告**  
別紙幹事報告参照

幹事 矢部 英樹君

**出席報告**  
欠席者

【備考】 仲亀秀樹さんは休会中

	計算会員数	出席	欠席	M U	比率
今週				0	82.6%

**スマイルボックス**

- 毎日、雨…雨…雨…  
体調管理に気を付けましょう 若林眞治君
- 本日は5統括委員長、  
宜しくお願いします 矢部英樹君

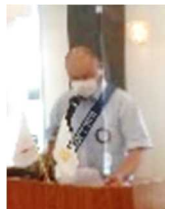
**お祝い・記念日**  
なし

**クラブ協議会**

5統括委員長今期の方針報告

**親睦・出席・会報統括委員長 大谷裕也君**

毎例会ごとに会報の作成、配布、出席率の報告、お祝いの発表、スマイルの発表。年間行事として 7月30日(金)納涼会  
9月17日(金)お月見例会 10月18日(月)2クラブ合同例会 12月17日(金)ファミリー忘年会 翌年1月28日



(金)新年例会 5月15日(日)岡谷エコーRC 交流例会兼親睦旅行 6月24日(金)炉辺例会 はなの湯  
基本的に会場はフォレストヒルズを使用する意向。

**会員増強・研修統括委員長 後藤憲治君**

当初会員増強を2名としていましたが、期末に2名退会したことにより、3名増を目標とします。先週入会候補者推薦書を配布しましたが、来週の増強のクラブ協議会に記載して持参ください。若い年代層の増強を考えております。可能性にあるなしに関わらず全員の方の推薦でお知り合いの是非入会してもらいたい人の名前をあげてください。お願いします。また、新入会員に限らず、会員の研修についても実行していきたいと考えます。現会員



の退会防止も大事なことだと思います。

### 奉仕プロジェクト統括委員長 竹田浩富君

今年度からは各小委員会を統合され、委員長をはじめ委員全員で全ての活動の遂行にあたります。職業奉仕とは、地域社会で奉仕を行う土台となることを前提に職業奉仕に取り組んでいきます。国際奉仕はポリオ撲滅運動、社会奉仕はミツバツツジのメンテナンス作業と植樹、市長卓話、青少年奉仕は、サッカー大会支援、PTA 連絡協議会への書籍寄贈があります。



### 公共イメージ統括委員長 岡村吉彦君

クラブの重点目標デジタルネットワーク構築推進で、今年度例会の動画配信を利用し参加率を高める仕組みを作る。それを効果的に運用するために全会員が MyRotary に登録し RC セントラルをうまく活用する。富士宮西 RC の奉仕活動を積極的にローカル紙で広報する。ロータリー川柳をクラブ内で会員が楽しみながら寄稿し、いい作品を静岡新聞に載せてもらう流れを作りたい。



### R 財団・米山統括委員長 渡邊奈津実さん

代読 若林眞治君

ロータリー財団は「世界でよいことをするために」というたったひとつの理念のために作られた団体です。活動の基盤となるのは、毎年、会員から集められた 150 ドルです。富士宮西 RC でも「よいことをするために」、①一人 150 ドルの寄付をすること ②サッカー大会の支援を続けていくこと この2つを目標に一年間活動していきます。



米山委員会は、「ロータリー日本国内全地区合同事業」と位置づけ、世話クラブの担当カウンセラーのもと奨学生の援助を行っています。今年度、2620 地区では 27 名の受入れ予定しています。ひとりでも多くの奨学生を迎えるために ①1 人 16,000 円以上の寄付をすること ②活動啓発の卓話をする事 この2つの目標をもとに一年間活動していきます。また、歴代ベネファクターの紹介なども行い、寄付の促進となるよう活動していきたいと思っています。